

ベトナムにおける非正規金融の役割・中小企業の資金調達からの観点

一般財団法人アジア太平洋研究所・Cao Thi Khanh Nguyet

要約

非正規金融は、ベトナムにおける中小企業にとって必要な資金調達先となっている。非正規金融とは、ファミリー、親戚、友人からの借入、取引企業からの借入、マネーレンダーからの借入を意味する。一般的にファミリーや親戚、友人からの借入は低金利であり、返済条件も優遇されているため、中小企業にとっては優先度の高い資金調達先である。一方、マネーレンダーは、高金利であり、政府等の管理が行き届きにくいといったデメリットが挙げられるが、中小企業にとって、銀行やファミリーなどからの借入が不可能な場合、最後の資金調達手段となっている。本稿ではマネーレンダーに注目し、ベトナム中小企業の資金調達において非正規金融の役割を分析する。分析結果からベトナムにおいては、正規金融が中小企業の資金調達において主力を占めておらず、非正規金融が副次的な役割をもつのではなく、主的な資金供給先の役割を果たしていることが明らかになった。また、非正規金融は、資金不足に直面した企業にとっては重要な資金調達先であるが、正規金融から資金調達ができても、投資機会を逃さないため、非正規金融にもアクセスすることが明らかになった。